

岡山市が提唱する新説「新たな倭国論」の 紹介動画を公開します

古代吉備をテーマにした岡山市の新説「新たな倭国論(古墳時代における吉備と大和の二頭政治)」の紹介動画(1分39秒)が完成しましたのでお知らせします。

1 内容

5世紀初頭、倭(やまと)政権では、吉備が大和と同等の勢力を持ち、協力して治めていたと考える「新たな倭国論」を、関西国際大学・宗田好史(むねた よしふみ)教授の解説により紹介しています。

岡山市では、造山古墳をはじめとする巨大古墳の存在や発掘調査結果、古い文献等を元に、「新たな倭国論」を提唱し、様々な媒体を通じてその魅力を発信しています。こうした取り組みより、かつて隆盛を誇った古代吉備に光を当て、多くの方に関心を持ってもらうことを目的としています。



2 公開日

令和7年2月20日(木)

3 公開場所

- ・岡山市公式Youtubeチャンネル 岡山市「桃太郎のまち岡山」
https://www.youtube.com/@okayama_city
- ・岡山市歴史観光WEBサイト「おかやまレキタビ」
<https://rekitabi.jp/>



岡山市公式 Youtube チャンネル



歴史観光WEBサイト「おかやまレキタビ」

(今後の発信予定)

- ・日本遺産シンポジウム「葬られた古代吉備の歴史」で、開始前に放映
開催日時、場所 令和7年3月9日(日)15時～16:30(岡山芸術創造劇場ハレノワ大劇場)
- ・造山古墳ビジターセンターで常時放映 等

4 その他

関連する「新たな倭国論」の情報発信

○令和5年度

令和5年10月6日に開催された「北前船寄港地フォーラムinおかやま」で、考古学者である谷一林原美術館館長と「ロマンあふれる吉備の国」というテーマで対談

○令和6年度

歴史雑誌「歴史人11月号」(令和6年10月6日発行)で、関西国際大学・宗田好史教授と岡山市長との対談記事を掲載

○令和7年度(予定)

造山古墳のVR動画制作

【問い合わせ先】

岡山市 プロモーション・MICE推進課 的場、宮原、安東
直通086-803-1333 内線4536・4535・4534

「新たな倭国論」～当時の状況の整理（案）～

(西 曆)

2世紀後半

弥生時代最大の首長墓が吉備に出現

楯築墳丘墓（墳長80m）

大和、吉備、北部九州で大集落が出現

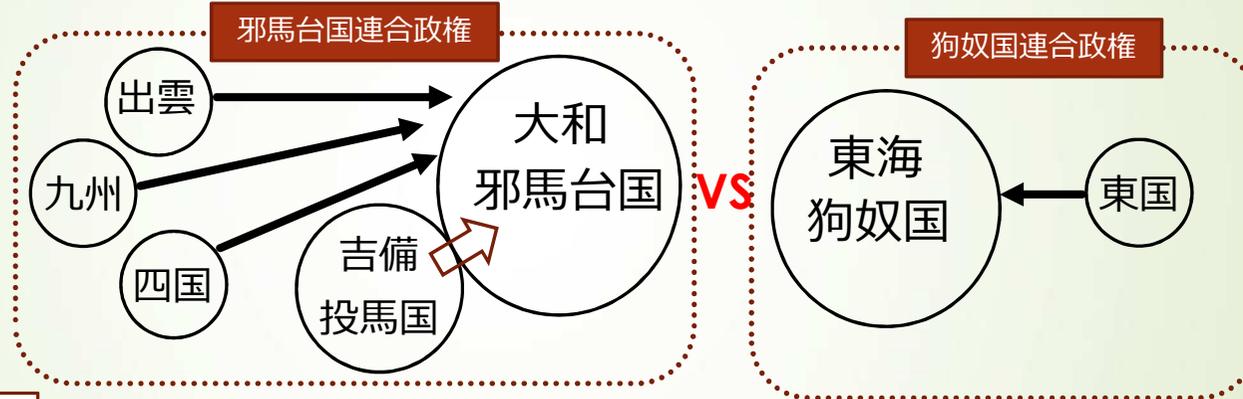
3世紀中葉

邪馬台国の女王卑弥呼の登場

対狗奴国（東海地域）のため、西日本各地の勢力が大和・纏向に結集

大和：箸墓古墳（墳長276m） > 浦間茶臼山古墳（墳長138m）

大和を吉備がサポートしていた



4世紀末～
5世紀初頭

朝鮮半島での軍事行動の活発化

倭政権

